

## 児童数が増加 二川小の統合は

**答** 新たな案を検討する



弥吉 治一郎 議員

**問** 地域の人口が減少し、複式学級での運営が避けられないなら学校の統廃合はやむを得ないと思う。しかし、二川小学校の児童数は予想以上に増加し、来春の新人児童は38人、2クラスとなり教室が不

足する事態となる。このため、今議会には教室改修予算も提案された。二川小学校の児童数は4年後に今より43人も増えると推計されている。二川小学校の統合には納得できないが。

**市長** 小学校再編案の見直しは、児童数推計の修正と、小規模校の複式学級回避の観点から再検討した。その結果、これまでの6校統合案に加え、新たに①古川、下妻、古島、水田の4小学校を統合する案、②下妻、古島、水田の3小学校と、古川、水洗の2小学校を統合す

る案を検討する。この2案では、二川小学校は状況を見ながら、さらに検討することになる。

**37本の事業見直しは可能か**

**問** 財政健全化で事務事業を約5億円見直す計画だが、歳出の抑制にどう取り組んでいるのか。

**財政課長** 縮小、廃止する事務事業数を37本と決定。来年度までに、平成29年度の予算と比べ20%削減の目標を掲げている。かりと対応している。



統合されれば...

## 「財政健全化」 市民の理解度は



貝田 晴義 議員

ないものもあるが、少なくとも市庁舎建設は実現したい。

**問** 予算を周知するため、5月ごろに、市民へ重点項目等を明示した予算ダイジェスト版を出すべきでは。

**問** 「財政健全化」は、市民には単なる支出削減と見られている。市の目指す10年後の姿を提示すべきでは。

**財政課長** 市広報に、わかりやすい紙面で提示し周知を図る。

**問** 歳入増対策の企業誘致適地調査後の進め方は、建設経済部長 まず、用途地域の拡大を行うことで対象地区を取り込むことから始める。予算がつけば着工できる準備をする。

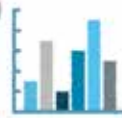
**企業誘致適地調査の進捗は**

**答** 市広報誌にわかりやすく明示し、周知をはかる

**副市長** 4年連続の赤字のため繰越金が減少している。実質収支黒字3億円、財政調整基金20億円確保を目指す必要があると思う。



財政健全化には課題が多い



**問** 企業誘致に関して消極的ではないか。市長の見解は。

**市長** この件はしっかりと取り組む。他市との比較でも企業誘致条件に差があるので条例改正から進めたい。